

# 「群馬県支部会報」

発行  
平成 31 年 2 月 19 日  
公益社団法人 日本技術士会  
群馬支部 広報委員会

## ごあいさつ

支部長メッセージ

### 会報第 12 号の発行にあたって

公益社団法人 日本技術士会  
群馬県支部 支部長  
眞下 寛治（機械部門）



新年、おめでとうございます。

会報第 12 号の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

今年は亥年ですが、亥年は大地震・火山噴火など大災害が多いといわれていますが、大きな災害が起こらないことを願うばかりです。

群馬経済研究所の12月のぐんまの経済概況では、群馬県内の景気は、緩やかに回復しつつあるものの、一部に弱い動きがみられ、消費では、10月の百貨店・スーパー販売額は7カ月ぶりに前年比減少、11月の乗用車販売は2カ月連続で前年を上回り、生産面では、10月の鉱工業生産指数が4カ月連続で前月比上昇しています。

企業コンサルティングのクラリベイト・アナリティクス・ジャパンが発表した、知的財産や特許分野での世界で最も革新的な企業100社となる「トップ100グローバル・イノベーター2017」では、100社のうち、国別では日本が39社で2年ぶりにトップに返り咲いています。ちなみに、次いで米国の36社、フランスの7社、ドイツ4社と続きます。

知的財産権等使用料収支尻（2018.8）では、日本は米国について2位です。

このように日本企業は、イノベーションの創出による知的財産で世界の技術革新を牽引しているとともに、過去の技術開発に基づく恩恵を受けているといえます。

平成30年の不正競争防止法等の一部改正では、IoTやAIなどの情報革新が進む中で、データの重要性が高まっている状況を背景として、不正競争防止法に新たに「限定提供データ」の保護が入り、不正取得等に対する差止請求が認められています。これは、ID・パスワード等により管理しつつ相手方を限定して提供するデータを不正に取得、使用又は提供する行為を、新たに不正競争行為に位置づけたものです。また、IoTやAI関係の特許も増えていくと思われまます。

日本は資源がない国ですから、技術開発をしてゆかなければなりません。国も中小企業の支援に力を入れております。

技術士として益々活躍する場が増えていると思います。いっしょに頑張っていきましょう。今後の群馬県支部の活動に皆様方からのご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

企画研修委員会について

公益社団法人 日本技術士会  
群馬県支部 企画研修委員長  
大竹 雅久（機械部門）

**1. 本年度の活動状況**

企画研修委員長の大竹です。企画研修委員会では、会員の皆様の継続研修や相互交流に資するよう、講演会や工場見学会等の企画、運営をしています。

本年度は、平成30年5月25日（金）に第3弾の「USB（ドローン）活用セミナー」を開催しました。群馬県県土整備部建設企画課の黒澤由昇様から「群馬県のi-construction～ICT活用の取組を中心に～」、株式会社ブルーイノベーション代表取締役社長の熊田貴之様から「ドローンの可能性と今後の展望」、プロファ設計株式会社地理情報部計測課の千本木尚久様から「測量・河川調査分野でのドローン活用」と題して、最新のドローン事情についてのご講演を頂きました。

平成30年7月20日（金）には、第7回全体会合の後にCPD事業の一環として記念講演会を開催致しました。講演会では、「再生可能エネルギーの活用と自治体新電力について」と題し、一般財団法人中之条電力の山本政雄（技術士〔上下水道、総合技術監理〕）様に再生可能エネルギーについての大変有益なご講演を頂きました。

また、平成31年3月8日（金）には、第3回講演会「群馬県内の活断層とそのリスクについて」を開催する予定です。広島大学大学院教育学研究科准教授の熊原康博様をお招きし、現在すでに県内にて確認されている活断層の特徴と地震のリスクについてご講演頂きます。

**2. 来年度の活動予定**

企画研修委員会では、来年度もCPDの講演会を2回（7月、3月）、工場見学会を1回（10月）開催する予定です。現時点、各行事のテーマは未定です。多くの皆様に参加頂ける行事を目指しています。ご希望のテーマ案、見学先案などございましたら是非ご提案ください。

また、会員の皆様には、ご自身の技術経験等に関し、講演会で是非発表して頂きたいと考えています。講演会での発表が可能が方、ご検討中の方、いらっしゃいましたら宜しくお願い致します。

群馬県支部会報 第12号

公益社団法人 日本技術士会

広報委員会 委員長 二川真士（機械／総合技術監理）  
委員 大谷 恵（機械）  
委員 小池広明（建設／総合技術監理）